

沙林三人をわきまらる成政中へ居せしめんとお笑ひ運
け強き人々を先見知れぬるにふ運され打合を我が
首をとり景徳公捕けんとそ大長刀を以て躍りたり
これ百余人の兵を果へんと引散りて只弓と鉄炮と呼
りたる沙林三人あをかり破て難兵を合して大死せん
詮ありそ浦辺をさして逃れゆく小陣に告げて只今落
初ハ敵初東沙林成を打首と叫び逃るに敵と追
けり馬武者近く追寄しハ東沙林引返して長刀
と打振馬の足もあがりて叶とて退きまゐるに湯の
濱に逃出て心静まり休む敵追ひ来る馬を取てあがり

んものと侍居るを夜を明し曉頃いなり富樫兵左馬秋縫之
助と云者上下五六人ぞ明和をもちて馳来り後より大勢騎
きこる所鬼泣九布旗を以てはつと出て落人ぞありと富
樫腹腹を突立たる秋縫助馬宗りあせ旗を以て突
かちを新左馬助あり長刀をもち掃ひ雑兵を逐け
退く間に富樫馬に四席大夫おあり秋山馬に新左馬
宗ありと清九布旗の兵糧が敵あり撒成そ太刀を以
て奪ひ取腰に附れ東沙林兄弟打てし戦後の侍達
北を河内送り近頃町亭より悦入馬とて中法中首ハ
尚座の引出物中座及宣敷より強きしそ浦邊をめぐと